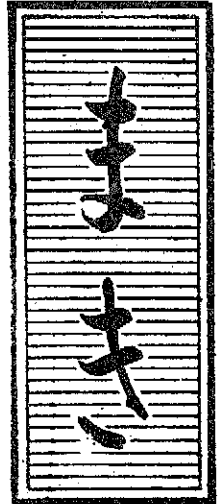


県内のトップを切って 巻町学校給食センター開設



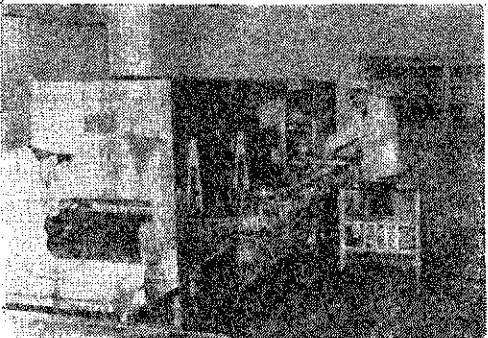
発行所
西蒲風郡
巻町公民館
発行責任者
樋口弘雄
印刷所 北澤印刷株式会社



ガス回転釜十二基
一釜に四百人分の煮物ができる



手前 食器洗浄機一時間に六千枚
処理 向側食器消毒保管庫八十
学校給食が、全国的に施行され
重点をおいた内部の構造がまず目
をうばう。



自動フライヤー(揚物機)
一時間に三千食の揚物ができる



ミルク二重釜 一回に三、〇〇〇
人分のミルクができる

十二月二十一日竣工式を行なっ
た、学校給食センターは、全町十
三ヶ校、五、五五二名の給食施設
だけに、近代的な設備と、衛生に
重点をおいた内部の構造がまず目
をうばう。
学校給食が、全国的に施行され
るやの新聞報道もあったが、いち
早くこれの実施にふみきった巻町
は、県教育長の言葉通り、県下の
テストケースとして全市町村の注
目を集めていることであり、今後
の学校給食に大きな示唆を与える
ことであろう。



一九六四年。
▼フルンチョコが追
放され、中国では核
実験が成功し、英国
では労働党が勝ち、
米国ではゴールドウ
ォーターが意想外の
票をとる。こうならべてみると、
なにか無意味なものが世界を包
み、この年が新しい状勢への出発
の年となるのではないかと考えられ
る。

▼ひるがえってわが巻町をみる
と、国体とそのため仁箇村や鷲
の木が全くその外見を変え、新潟
地震でも幸いにそれほど被害も
なく、そして学校給食が始まっ
た。
▼更に町民ひとりひとりのこと
になれば、或は新しく夫となり母と
なり、また親しい人に別れた人も
あるだろうけれど、大多数の人に
はそれほどの変化もなく凡々とし
禄々として年を送ることであら
う。
▼しかし昔の言葉に「年々歳々人
同じからず」という言葉もあるよ
うに、細かく探し出せばやはり少
しずつでも変っているんだらう。
▼世界が変わるといふことはそれを
構成している個人個人も変ったと
いうことだらう。願わくば世界も
個人もその方向が前向きであるよ
うにと祈るものである。

他地区の農業改善事業は どんな姿で進められているか

富山県滑川市…米と養豚 西頸城名立町…養鶏に生きる

巻町では経済課長、普及所長外 造改善事業の視察してき四名で、滑川市、名立町の農業構 た。農業構造改善事業がこれからの農業の姿を変えてゆくものとして、政府も、県も声を大にして叫んで来たが、案外進んでいないのが現況である。



滑川市 富山の葉売りで、有名な

それはこの事業が大きな構想と、沢山の経費を伴っているからである。今回視察した両地区も、決して完全実施とは言えないにしても、視察した者にとつて、また巻地区のこれからのあり方に大きな示唆を与えていないだろうか。

冷害に苦しむ

北海道の友を救え

北海道の冷害は、既にテレビに新聞に報ぜられているように、ところによっては死活問題にまでなっている。巻町でも一昨年北海道音更町の青年百名を受け入れ、昨年はこちらから北海道研修に行った、これらの青年男女五十名が、北海道の友を救えと仲間呼びかけ、連日、北海道の友を案ずる学級生が五百円、千円と見舞金を持って公民館を訪れている。また、巻町役場でも北海道の冷害見舞金を受けつけて居り、続々集まるこの温かい町民の志を、出来たら十二月二十八日までまとめて北海道に贈りたいと町民の皆さんの協力を願っている。

工業統計調査はじまる

役場企画調査課が主となって 十二月三十一日現在で実施

この調査は、日本における製造業に属するすべての事業所を調査する、いわゆる製造業に関する国勢調査である。これは、生産のために使用された要素や生産の成果等について調査するので、単に国の行政の資料にするだけでなく、県や巻町の諸施策を進める上からも大切な資料となり得る。

準備調査 現在企画調査課では、前年度の調査を基に調査対象となる事業所の把握につとめ、事業所の確認のため巡回を続けています。



(ウルシヤマ金属工場)

グループ紹介

一 働きつつ学ぼう 県立新潟高校 通信制 巻地区 学習グループ 働きのながら、実社会に役立つ教養や技術を身につけようとする心に燃え、独りコソコソと勉強している通信教育受講生が現在巻町には九〇名ちかく居る。この中で、高校卒の資格を得るために昼間の疲労を振り払って教科書に取り組んでいるグループがある。男子四名、女子四名の



(他の学習グループとの交歓風景)

この市は年間二千人位出ていること。人口も、学校数も、農協数も、巻町とよく似た規模の町である。事業は、補助事業の基盤整備(区画整理)(四千四百万円)と、経営近代化施設(六千四百万円)融資単独事業の養豚(一千四百六十万円)である。

この事業と二年前からとり組んだ地区が一八六戸の部落で、耕地は平均三反半位しかなく、出稼ぎを主体とした地区であった。今までは、養豚には全然経験のない地区である。この未経験の地区が二〇頭単位で現在二、六〇〇頭を飼育、しかも三百頭の豚舎、四百頭の豚舎まで持っているのに驚いた。

町の総合開発計画もなく、何かの補助、融資に遅れないようにと、大急ぎでとりくんだ感じであったが、見たところ、聴いたところでは、順調に伸びて四千頭を目標に進めている。この事業が、きく通り成果をあげ得ているとすれば、その原因は何だろうかと考えてみた。

それは、市の強引な実施と、技術陣の適切な指導と、指示通り動いている実施者側の熱意ではあるまいか。

名立町

ここでは、常識で考えられぬような、とり組み方と、養鶏をやるにお世話にも適地とは言いがたい場所、この事業を進めていた。名立町は、海岸線と三方山に囲

まれた耕地に恵れない人口五千六百の全国的にも最も小さな町である。この養鶏事業は、町が主体となつている。今までは七八〇戸農家中四五〇戸が五羽から三〇羽を飼育していたので、話が養鶏に生きることになった町の状況はうなづける。

おらが老人クラブ

例會行事で一番會員に喜ばれるのは年一度の慰安旅行である。今までは岩室と弥彦へ行っている。次に映写会も人気があるようだ。あとは他のクラブでやっておられる行事とは同様に格別とりたてて御紹介するような催しはない。ただ巻地区長寿クラブでは役場からのお勧めもあって、国民年金の徴収をクラブで引受けてやっているが、これはクラブの財源ともなり、一面老人としての社会活動の一端ともなつて一鳥二石の仕事と考

巻町第一区長寿クラブ

會員 四十八名

昨秋の九月十五日クラブの結成を見、会長に笠原俊次氏を推し、爾来老人福祉法の線にそつて例會をやっている。

浦浜かごめクラブ

日本海を目の前に、遠く佐渡が島が見える。うしろに屏風を立てたように角田山の峰がそびえたつ、風光明媚な浦浜は、長寿の部落で人口わずか四〇〇余名中、六十五才以上の高齢者が六十有余名、これら高齢者は時代の変遷の中で、家のため、社会のため一杯つくされ今しずかに生活している。昨年老人福祉法が出来て、町や社協の肝入で四月三日老人クラブが誕生した。その名も海岸部落



かごめ職業をもっている。時間的に苦しいというようだ。また通信教育生は独学なので一人部屋にとじこもり、孤独になりがちなのが心配である。もっと楽しく学習

やひろ学園が開設されます

知恵のおくれている子供のために うちみちの学園では県内の精神薄弱児を収容して、小・中学校の勉強や生活、作業、職業の指導をして、不幸な子供たちを社会人として働けるようにしつとを続けております。ところが郡内でもここに大勢いますので、郡内の十一

ケ町村が共同でやひろ学園をつくつていよいよ四月から開設することになりました。一般の子供より知恵のおくれている子供さんをおもちの方は、(満六才から十八才まで)世間いや、みだりにとられず子供さんのしあわせのために、社会に役立つために、近くにできたやひろ学園に入れてやって下さい。役場(厚生課)、学校、民生委員のうちどこでも結構ですから申込んで早く手続きして下さい。

写真集『雙鴻』刊行

巻町双書第十一集『写真集 雙鴻』十一月に刊行されました。これは石山主事の十ヶ年に亘る力作です。千拓されれば一面の青田に変わる雙鴻の姿を早春の陽ざしの中に、真夏のマユモの中、或はステデに降る雪の中に求めて七十余枚にわたるにあげた格調高い作品集です。今まで刊行された双書と同じく実費(二百九十円)で希望者にかけております。役場経済課又は公民館へ申込み下さい。

スポーツの便り

巻町卓球大会 第三回巻町卓球選手権大会(個人男女)を、二月二十一日に行ないます。詳細は、一月十五日の館報に発表いたします。スキーのおしらせ 巻町スキークラブでは、左記の予定で、同行者を募集しています(初心者歓迎) 申込先一丸幸スポーツ店 ○中里スキー場行 一月十五日、十六日○猪苗代スキー場行 二月六日、七日○大湯スキー場行 二月二十日、二十一日 双書十一集

役場の窓口から

今のうちに窓口へ

役場の窓口は例年のとおり二十八日で終ります。
 今年は二十六日の土曜日、二十七日の日曜日と続き二十八日は相場の混雑が予想されます。
 1、印鑑の証明
 2、転入転出の手続き
 3、その他の届、申請等
 出来るだけ二十五日前にすませるようお願いいたします。
 とくに印鑑の証明は年末にいますので早目から必要な方は早目に手続きをして下さい。
 新年は一月四日から事務が始まります。

たばこはけむりになって

消えるだけではありません

税金とたばこ

税金というとすぐ気分が悪くなるなど冗談をよく聞きますが、仕事のきれ目や食後の一服のうまさ、愛煙家ならでは味わい得ない醍醐味ではないでしょうか。そのうまい一服の一部が直接町の収入につながるのが市町村たばこ消費税であります。
 もっとも町の税金になるのは町内の小売店からお求めになったものだけに限りまして、他の市町村からいくらお買いになっても巻町の税金にはなりません。
 この税金は皆様が町内の小売店からお買いになったたばこの本数によって計算され、種類に関係なく「しんせい」でも「ハイライト」でも同じです。刻みは一グラム

昭和四十年に成人式を

迎える皆さんへ

巻町では毎年中学の卒業生次毎に皆さんが、一しょになれるように、成人式を行なっています。
 従って四十年の一月十五日の成人者は、昭和十九年四月二日から昭和二十年四月一日までに出生された方です。近く案内状を差上げますが、現在巻町に居住されて居ないが、成人式の頃巻町にもどられる方や、町に転入されていても住民登録されていない方は、巻町公民館に御連絡下さい。

六、六八〇本で、巻たばこ一本の長さを七センチとして縦に積み重ねますと角田山の高さの五百倍、巻町の海岸線の新潟市と岩室村境界までを三・九百米とすればなんと十七倍余となります。けつして嫌いな方にも今からなど無理なお奨めするつもりはありませんが、たばこをお買いになるときは是非巻町の小売店からお願い致します。

公民館へ鏡を贈る

「公民館で利用できたら置いて下さい」と仲好クラブから鏡が一面公民館に寄贈された。
 仲好クラブ、文字通り近隣相寄り農作業を通じ、たのしみの場として会員十二人のクラブである。昭和三十一年以来七ヶ年毎月の積立金から年一回の旅行がこのクラブ最大の行事である。普及所の話や保健所の栄養教室の伝達講習が折り折り開かれ集まることとなる。俗に言われる世間話のなかにクラブ員の人間性を高めようと、リーダー格の樋浦さんの悩みがあった。
 農家の主婦達の近隣愛から発生したこれといった目的もないクラブが、集まりの中に自己を反省、外に目をむけるようになり公民館や普及所の集会にも会員がそろって出席するようになった。そしてクラブ員の精神的ささえへと発展しつつある。
 変貌する社会の中に芽生えた仲好クラブの皆さんを紹介し、その発展を祈りたい。

- 樋浦 オ
- 樋口 ヨ
- 笠巻 マ
- 鈴木 ヨ
- 石山 マ
- 石井 ア
- 永井 ハ
- 石川 キ
- 土田 ヨ
- 渡辺 キ
- 八木 フ
- 本間 レ

古武士の風格

松野尾 小出八郎左工門(毛才)

「かつてエデンの楽園に流れる真清水ではなく、この真清水の流るるころは常にエデンの園である——高橋桂治——
 この浪漫詩は大正十三年に刊行された歌集『ま志みづ』(四十八頁オフセット)に載っている序文詩である。高橋さんは当時の松野尾高等小学校長であり、この人をリーダーとして、今は故人となった新田広海氏(光照寺住職、号孤羊)等九名ほどの村の文学青年がいた。いわば古きよき時代の仲間たちであった。その一人に小出

巻町の年輪③



戦後二十三年、推されて松野尾村長となり、その一徹の気骨をもって組合立浜松中学校を創設した。以後は、歌、野鳥、園芸をたのしみ、金雞鳥が七羽、キジとその雛五羽を飼育し、葡萄を植え、密柑を栽培して、余生といえども仲々忙しいものだと思っておられる。老人クラブ楽和有会の会長である。
 青年時代から詠いつづけた歌の精進は今もかわらず、数年前から自選歌集『あかつき』を四集まで出した。
 新年御歌初めの勅題「鳥」に詠進した小出さんのお一首。
 雪の夜夜 童話語りし亡き母の
 白鳥の夢今も忘れず

湖畔